

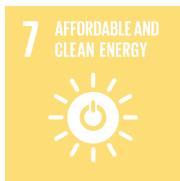


2022年度 学校教員向け 教師国内研修募集要項

SDGs (持続可能な開発目標)や多文化共生への
理解を深め、開発教育を学ぼう!

JICA 筑波

応募
締切 **2022.06.13** (月) 必着



主催：独立行政法人国際協力機構筑波センター(JICA筑波)
後援：茨城県教育委員会(申請中)
茨城県高等学校国際教育研究協議会(申請中)
栃木県教育委員会(申請中)
栃木県私立中学高等学校連合会(申請中)
公益財団法人栃木県国際交流協会(申請中)

研修の目的

- SDGsや多文化共生についての現状や課題について理解を深める
- 学校現場での開発教育の実践を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立てる
- JICA筑波と継続的な関係性を築き、教育現場で国際理解教育・開発教育やSDGsを推進する中核となってご活躍いただく

研修日程 ※内容、開催場所等については若干変更する場合があります。ご了承ください。

SEMINAR	DATE PLACE	CONTENTS
第1回 事前研修	7月2日（土） （JICA筑波）	JICA事業やSDGsに関する講義 本研修の概要説明 ワークショップ 過年度参加者によるケーススタディ
第1回 国際理解教育実践セミナー		SDGsに関するレクチャー及び対話セッション SDGs体験型授業 協働学習
第2回 事前研修	7月16日（土） （JICA筑波）	ファシリテーター研修 フィールドワークの準備 授業案の検討
第1回 フィールドワーク	8月4日（木） ～ 8月6日（土） （茨城県・栃木県の訪問先）	授業実践を見据えた関連施設、地域への訪問と交流活動 SDGsをテーマにした授業見学、教材作成のための情報収集など (例) 昨年度訪問先：エスコラオプシオン（ブラジル人学校）、茨城NPOセンター・コモンズ、栃木県国際交流協会、循環型社会実践企業 ※JICA筑波 宿泊
事後研修	8月20日（土） （JICA筑波）	フィールドワークの振り返り 情報共有 今後の授業案作り
第2回 国際理解教育実践セミナー		新学習指導要領の捉え方や開発教育と各教科を連動させるコツに関するレクチャーと対話セッション SDGs体験型授業 協働学習（開発教育の開発）
第2回 フィールドワーク 希望者のみ	9月30日（金）・10月1日（土） （茨城県・栃木県の訪問先）	SDGsや多文化共生に関連する授業を実践している学校の訪問 訪問先教員との意見交換など
授業実践	10月～12月 各勤務校	研修で得た情報、教材をもとにした授業実践
報告会（栃木）	2023年1月～2月の土曜日 （とちぎ国際交流センター）	開発教育の授業研究 国内研修、授業実践報告 意見交換、交流会
報告会（全体）	2023年2月4日（土） （JICA筑波）	

応募資格 | 次の条件をすべて満たすこと

- 茨城県、栃木県内の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校（1～3年生を担当）、特別支援学校の教員及び教育委員会の指導主事であること
- 年齢が原則満50歳以下（2022年4月1日現在）
- 所属する学校の校長もしくは教頭（教育委員会であれば所属長）の推薦があること
- 本研修の趣旨・目的を十分理解し、同研修の実施及び、以後JICAが実施する国際理解教育／開発教育支援事業に継続的に協力可能であること
- 原則として、上記【研修日程】の全行程に参加可能であること
- 本研修の定めた期間内に所属校において授業の実践を行い、当該授業の実践報告書を提出し、JICAのウェブサイトにて一般公開されることに同意すること
- 参加者メーリングリストでの情報共有に賛同いただけること

その他

- 過去に、教師海外研修、JICAボランティア事業、JICA専門家等及びODAモニター／国際協力レポーター等に参加経験があっても参加可能
- 本研修に参加後も、来年度以降実施する海外研修に応募することが可能
- 応募者多数の場合は、JICAが実施する国際理解教育／開発教育支援事業の参加経験者を選考の際に優先（応募書類の「JICA主催の事業について」に可能な限りご記入下さい）

教師国内研修 | 1年間の流れ

6/13

応募締め切り

選考過程

6/14(火)～16(木):書類選考

6/17(金):選考結果通知(メール)

7/2

7/16

事前研修

内容

本研修で共に学ぶ仲間と出会い、様々なレクチャー・対話・協働学習・体験型授業を通じてSDGsの学びを深め、開発教育の実践に向けて活動します

8-9月

国内フィールドワーク

内容・訪問先候補

SDGsや多文化共生の取り組みをしている地域や企業・団体を訪問します。現場での交流や意見交換を通じてSDGsや多文化共生について理解を深めるとともに、授業の開発に役立つ事例や素材の収集、ネットワークの構築を目指します。

訪問先候補:エスコラオプション(ブラジル人学校)、茨城NPOセンター・commons、栃木県国際交流協会、循環型社会実践企業



8/20

事後研修

内容

フィールドワークの学びを振り返るとともに、指導要領教科の関連付けのコツを学び、仲間との協働学習を通じて授業の開発にチャレンジします。



10-12月

授業実践

所属校での授業実践

これまでの研修やフィールドワークでの体験を生かし、開発した授業を実践します。



2/4

授業研究・報告会

内容

1年間協働した仲間と共に、実践した授業の研究やブースでの報告会を行い、今回の学びやコミュニティが継続的に日常の教育活動に活用することができるような場を設ける。

参加費用

参加者自己負担経費

- 研修およびフィールドワーク時の食費
- 追加保険の加入費用
- その他JICA負担経費（右記）に含まれていない支出（教材、資料購入など）

JICA負担経費

- 研修およびフィールドワーク時の交通費
- 研修およびフィールドワーク時の宿泊費
※交通費、宿泊費等はJICAの規定に基づきます
- フィールドワーク時の傷害保険費（JICA規定分）

募集人数

8名程度

応募方法

応募用紙に必要事項をご記入の上、2022年6月13日（月）必着で末尾の【お問合せ・お申込み】の宛先まで郵送ください。

※ご応募の際は所属長の推薦が必要です。

※お送りいただきました応募用紙及び写真は返却いたしませんので予めご了承ください。

※応募用紙はJICA筑波ウェブサイト（「JICA筑波教師国内研修」で検索願います）からもダウンロードできます。ただし押印が必要なためデータでの応募はできません。

選考および決定通知

提出書類に基づき選考を行います。

選考結果は6月17日（金）までにご本人および推薦者／所属長宛に直接文書を発送いたします。

報告書の提出

「授業実践報告書」研修で得られた経験・成果を授業などで実践した報告書（授業実践例）を2022年12月中旬までに提出していただきます。授業実践報告書は、「教師国内研修報告書」として編さんの上、一般に配布されます。またJICAウェブサイトでも公開されます。

その他注意事項

1. 年休・研修等、研修中のサービスの扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
2. 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
3. JICAは出張命令依頼書等の発行を行いません。
4. 申込書の送料、面接にかかる費用（面接を実施の場合）は自己負担となります。また提出いただいた申込書は返却いたしません。
5. 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取消になる場合があります。

※ 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける、あるいは決められた活動に参加する意思がないと判断される方については、研修対象者としての資格を失うことがあります。その場合は、JICAが負担する経費について、返済していただくことがあります。特に、フィールドワーク中に研修対象者としての資格を失った場合、JICAが負担する旅費・滞在費等に係るキャンセル料等は、当該者の全額自己負担となります。また、帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

※本研修は、例年「教師海外研修」として実施の事業を、新型コロナ感染拡大をふまえ国内現場視察により代替実施するものです。

【お問合せ・お申込み】※ご不明な点は、お気軽にお問合せ・ご相談ください。

JICA筑波開発教育支援事業運営事務局教師国内研修担当：橋本・上山

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5丁目23番5号長谷部第一ビル402 特定非営利活動法人SALASUSU

TEL: 03-6277-2419 E-Mail: jica_deved@salasusu.com